

神奈川県議会議員(茅ヶ崎市選出)

No. 66

県議会報告

2012. 11

くさか景子の

ちよっ

よろしいですか!

と



神奈川県臨調！県緊急財政対策 茅ヶ崎、湘南への影響

県では、平成24年度当初予算では、900億円の財源不足に対し、施策・事業の見直しや工夫に取り組み、地方交付税等の増額確保に努め、約400億円の基金を充当し、やり繰りしている状態です。今後2か年で1,600億円の財源不足が生ずると推計されます。

この危機を打開するため、調査会の答申を踏まえ、県有施設の見直し、県単独補助金・負担金の見直し、人件費の抑制、公共建築工事の積算方式の見直しに取り組むことになりました。

個別には、HPで公開されていますが、茅ヶ崎市に関連する県有施設を見てみましょう。

- 1、衛生研究所・関連機関との統合→建物はそのまま、県立研究所などと組織を一体化、環境分野と衛生部門を分けるなどする
- 2、柳島流域下水道事務所・効率的な業務運営を行い、現状のまま継続
- 3、保健福祉事務所・現在9箇所あるが5つの医療圏ごとに再編・統合。茅ヶ崎は維持
- 4、茅ヶ崎里山公園、湘南汐見台公園・移譲を含めた検討→県民からも公園が無くなるのではとの心配があるが、無くすことはない。市町村への移譲を検討しているが、茅ヶ崎市は厳しい状況だ。県としては、効率的な運営方法を検討中としている。
- 5、県営住宅・団地の集約による効率的な配置や用途廃止の拡大など経営資源の見直しをする。民間借り上げ方式の短期的・部分的活用や家賃補助方式を検討するなど。



県立里山公園

県民からは、県民サービスに多大な影響を及ぼすとし、不安や反対の陳情や要望が多く寄せられています。しかし、全般的には、建物は現状のまま、統合や効率的な運営を図ることで、経費削減効果を出そうとしています。補助金は、団体への運営費補助金廃止、1件100万円未満の少額補助金の見直し、25年くらい多年にわたり交付されているものを見直すとなっています。私は委員会でも、一律カットはやめ、ロードマップを示し実施するよう厳しく意見しています。

いずれにしても、県民・企業・団体・市町村と危機感を共有し、理解・協力を得ながら取り組みを進める必要があります。強引な進め方はよくありません。議会でも、各党派とも、批判的な意見が多く、合意を得ながら慎重に行うことと提言しています。

こどもたちの未来のために



尾木ママの講演から～「釜石の奇跡」から教育の原点を学ぶ！

東日本大震災から1年9ヶ月経った今も語り継がれる「釜石の奇跡」とは何か？
宮城県釜石市での被害は、死者・行方不明者 1000 人を超えている中で、小中学生の 99.8%が生存し「釜石の奇跡」と呼ばれています。当日は短縮授業でこどもたちは下校、ばらばらのところから、こどもたち一人一人が命を守り抜いたのです。津波到達まで 30 分の間に、友達・兄弟・おじいちゃん・おばあちゃんを連れて逃げました。奇跡を生んだのは、こどもたちの心と地域の絆と言われています。しかし、その背景には、釜石小学校の校歌に、「教育の原点」が見られ感動しました。以下紹介します。
この素晴らしい校歌に納得しませんか？

いきいき生きる いきいき生きる ひとりで立って まっすぐ生きる
困ったときは 目をあげて 星を目あてに まっすぐ生きる
息あるうちは いきいき生きる はっきり話す はっきり話す
びくびくせずに はっきり話す 困ったときは あわてずに
人間について よく考える 考えたなら はっきり話す
しっかりつかむ しっかりつかむ まことの知恵を しっかりつかむ
困ったときは 手を出して ともだちの手を しっかりつかむ
手と手をつないで しっかり生きる (作詞 井上ひさし)



尾木ママ講演会



くさか景子のほっとコラム

県立北陵高校やっとな建て替え方針出る！

茅ヶ崎北陵高校は、建て替えの計画がありながら、遺跡の発見もあり、その方向性が先延ばしになっていました。今回、学校と史跡の共存を図る方向で調整していた結果、建て替えに着手することとなりました。校舎3棟と体育館を取り壊し、地下遺跡の保存に万全を期するため、鉄筋コンクリートではなく、軽量の木造で建設する。地下遺跡は、学校運営に支障が生じない範囲で整備し公開するということです。H25年26年設計、27年28年工事の予定です。私も、長年の予算要望や質問をしてきて、やっとな実った方針に喜んでます。

